ハヤヨミ！ 看護政策　No.４２４

都道府県看護協会長　様
本会職能委員　　様

日本看護協会　広報部
2024 年 3 月 27 日

生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定について議論

－地域保健健康増進栄養部会－

公開可

◎新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定について議論

地域保健健康増進栄養部会

3 月 14 日に地域保健増進栄養部会が感染症部会と合同で開催され、新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改定案について議論した。改定は、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、また、前回（2017 年）改定以降の制度改正などを反映する必要に鑑み行われるものである。これまで、内閣官房に設置された新型インフルエンザ対策推進会議などで検討されてきたものであり、2024 年夏の改定を目指している。改定された行動計画は都道府県の予防計画、保健所の健康危機対処計画に反映される。改定案では、計画に設定される各論について、現行の項目に新たに 6 項目（以下、下線部）を追加の上、13 項目（①実施体制②情報収集・分析③サーベイランス④情報提供・共有、リスコミ⑤水際対策⑥まん延防止⑦ワクチン⑧医療⑨治療薬・治療法⑩検査⑪保健⑫物資⑬国民生活・国民経済の安定の確保）に再整理し、それぞれにおいて、準備期（平時）・初動期・対応期に必要な対応を記載する。

委員からは、情報リテラシーやリスクコミュニケーション、有事を想定した平時の情報収集・分析およびサーベイランス、未来予測に基づく研究開発、実効性を担保するための予算の確保、産官学の連携等の重要性・必要性が述べられた。特に⑧、⑪では、都道府県の役割の明記、対応期における通常医療・保健の維持・確保のあり方など、⑫については、生活用品も含めた物資の提供の在り方、平時からの備蓄の必要性などの意見があった。中野常任理事は、実態を踏まえたフェーズ設定が重要であり、とりわけ「保健」の分野は都道府県の力によるところが大きいことにも鑑み、国・都道府県・保健所による 3 つの計画が可能な限り整合性をもって有用に機能することを要望し、また、IHEAT 要員の確保状況について質問した。⑫の備蓄については、管理・回転・更新の重要性についても指摘した。本議題の他、コロナ禍での移送に係る保健所などと消防機関の連携状況についての関係者へのヒアリングおよびアンケート調査の結果が示され、引き続き、連携の在り方を検討し、方針を示していく予定であることが報告された。（執筆：中野常任理事）

＜お問合せ先＞　日本看護協会　広報部
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前 5-8-2　電話：03－5778－8547　　FAX：03-5778-8478
Ｅメール　koho@nurse.or.jp　　ホームページ　https://www.nurse.or.jp/

「ハヤヨミ！ 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。

＜お問合せ先＞　日本看護協会　広報部
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前5-8-2　電話：03－5778－8547　　FAX：03-5778-8478
Eメール　koho@nurse.or.jp　　ホームページ　https://www.nurse.or.jp/